

JA運動の実践

Green Days



JA グリーン近江

支店ふれあい活動

今年度で支店ふれあい委員会を設置し4年目を迎えました。組合員や地域住民の方々とのふれあいを大切に、よりいっそう絆を強くするため、各支店でのイベント開催や様々な活動に取り組みました。



ウェイ研究会

グリーンウェイの普及・浸透を目的に発足されたウェイ研究会が2年目を迎えました。共通価値観や行動原則から構成され、中江藤樹や二宮尊徳の教えから役職員の取るべき行動や考え方を明文化したものです。7月5日には、グリーンウェイの理解と心の充電企画として「てんびんの詩の夕べ」を開きました。地元食材を使った軽食を食べながら映画鑑賞を行い、経営役員、女性部、女性参画会議委員と役職員の約140人が感動のひとときを過ごしました。上映した「てんびんの詩」は、東近江市の商人の家に生まれた少年が行商を経て、商いの心を知るまでを描いた作品です。近江商人の理念は、グリーンウェイの共通価値観として位置づけられています。





協同組合塾

協同組合塾を開き、各支店から選ばれた組合員 28 名の皆様に都合 6 回のカリキュラムを受けていただきました。協同組合の理念とその行動についてや、直売所を訪れる等の視察を取り入れた充実した内容でした。最終講義での修了書を手にした皆様からは、自信みなぎる地域リーダーとしての顔をうかがい見ることができました。



協同組合学校

中堅職員が J A で働く意義や協同組合運動について学習する協同組合学校を開校し 3 年目を迎えました。多様化する組合員や地域社会に対応し、農業振興と地域社会への貢献を図り、経営理念を具現化できる職員育成をめざします。



ウェイ・ウェイグリーン

一般職員を対象とした役職員面談制度「ウェイ・ウェイグリーン」の取り組みを開始しました。職員と役員の垣根を取り払い、日頃の業務や思いを話し合うもので、「グリーンウェイ」に基づいた人間力の向上と職員の E S 向上へつなげることを目的に実施しています。



少年野球大会

将来を担う子ども達に J A を身近に感じてもらうと「J A グリーン近江少年野球スプリングマッチ 2014」を開催しました。スポーツ少年団 26 チームが参加し、選手・監督が一丸となって気迫溢れるプレーを繰り広げました。昼食には、「みずかがみ」で作ったおにぎりや豚汁を提供しました。「みずかがみ」を知ってもらうと共に、地元の食材の美味しさを存分に味わってもらいました。





女性大会

JA グリーン近江女性大会・文化講座を、近江八幡市の県立男女共同参画センターで開催いたしました。テーマは『『きらり』と輝くわたしを見つける日』。管内から約 450 人の会員と組合員に参加していただきました。

講師の漫才師、宮川花子さんにより、「花子の生き生きライフ」と題して講演が行われ、名コンビの夫、大助さんとの仲の良さや、結婚から最近までの看・闘病体験談を交えて話されました。講演の後、手編みが得意な花子さんに、会員の手編み講師が編んだショールが記念に贈られました。



カルチャースクール男の料理教室

文化教室 JAカルチャークラブの一環である「おとこの料理教室」が 2 年目を迎えました。料理初心者でも参加できるよう、包丁の使い方から学べるプログラムで、講師指導のもと、大胆かつ豪快な男の料理を学んでいただきました。毎回 5～6 品を作りながら、家族や近所の話等で教室は笑顔であふれていました。また、3 月 14 日の最終講義には会員 7 人の奥様を招き、当教室で磨いた腕を披露しました。料理完成後は夫婦共に会食を楽しみ、最後は会員自らの企画で、奥様にホワイトデーのチョコレートをプレゼントし感謝の気持ちを伝えました。



JA あいち知多女性部との交流会

JA グリーン近江女性部と JA あいち知多女性部との交流会を開催しました。活動発表会では、グリーン近江女性部の廣田部長や JA あいち知多の地区代表の方々が日頃の活動を紹介してくださいました。また今回は女性オンリープロジェクトのメンバーも参加し、それぞれ貴重な交流ができ良い刺激をいただきました。



女性オンリープロジェクト

女性の視点から見た JA 商品の提案・開発また経営に参画することによる女性職員の能力発揮を目的に結成し 7 年目を迎えました。現在は 11 名の女性職員が活躍し、地域貢献活動や職員交流活動等様々な活動に取り組んでいます。





グリーンキッズスクール

次代を担う子ども達に農と食の大切さを学んでもらい、JA事業への関心を高めてもらおうとグリーンキッズスクールを開校しました。キッズスクールは今年度で2回目。管内小学生12組32人が農と食に触れ合いました。

米麦乾燥施設の見学・トラクターとの記念撮影・ミニトマトの収穫・初卵の詰め放題競争・模擬紙幣を使用した100万円の枚数あてクイズ・ジャンケン大会等盛り沢山の内容で大いに盛り上がりました。昼食は流しそうめんと近江牛、管内野菜を使ったカレー等を皆で食べました。最後には顔写真入りの「グリーンキッズスクール認定証」が手渡され、手にした子ども達は満面の笑顔をを見せていました。



グリンピース基金

地域貢献活動の一環として、グリンピース基金からの助成を行っています。グリンピース基金とは、役職員の善意の積立金とJAからの拠出金です。次代を担う子ども達の食農教育・自然環境の保全・社会福祉に役立てていただいています。今年度は管内10の学校・団体に総額約115万円を助成しました。これで助成総額は約1050万円になりました。



3代目グリーンバス納車式

組合員や利用者及び役職員の研修活動等に使用するバスを更新し、本店前で納車式を行いました。納車式では、職員がトランペットでファンファーレを演奏し、役員によるテープカットを行いました。中型40人乗りのバスは、経営理念である人・自然・食・地域がデザインされ、JAを全面的にアピールしています。また、交通安全標語「気をつけて 心配してるの あなたのことを」をバス後部に掲載し、交通安全の啓発も行っています。



信用

年金ありがとうキャンペーン

J Aグリーン近江で年金を受給いただいている方々に日頃の感謝を込めて、毎年6月と12月に管内の名産品をプレゼントしています。今年度は、6月にかりんとう、12月に日本酒をプレゼントしました。



年金・退職金準備セミナー

年金受給や退職を控えた方を対象に、年金・退職準備セミナーを開催しました。講師の前田裕子氏が「豊かなセカンドライフにむけて」と題し、年金を中心としたライフプランについて講演。53名の皆様が熱心に受講されました。受講者からは、「わかりやすい説明だった」「次回も開催して欲しい」というお声をいただき好評でした。



ご来店感謝デー

今年度も各支店でご来店感謝デーを開催し、沢山のお客様にご来店いただきました。日頃の感謝の気持ちを伝えると共に、J Aを身近に感じていただける様、各支店の個性を活かしたサービスやプレゼントでおもてなしをしました。



共済

高齢者交通安全教室

高齢者の交通事故防止を図るため、交通安全教室を開きました。参加者の皆様は、交通安全レインボー体操や敏捷性測定で体を動かしました。また、落語家の桂千朝氏によるユーモアたっぷりの交通安全落語では会場が笑いに包まれ楽しい時間を過ごされました。



ファーマーズマーケットオープンに向けて

農と食を結ぶファーマーズマーケット「きてか～な」オープンに向け、各地で説明会を開催しました。生産者の皆様も出荷に向け熱心に耳を傾けておられました。また、ファーマーズマーケットの愛称が「きてか～な」に決定しました。



● 事業概要説明会



事業概要説明会

● 園芸講座



園芸講座

● 農産物加工品講習会



農産物加工品講習会

25年度産米集荷推進大会

25年度産米集荷推進大会を本店で開催しました。「安定生産・安定供給を基本とした“結びつき米”の強化」、「販売先と販売数量の確保による安定した生産数量の確保」を重点事項とし、多様な世代となる農家組合員の安定した農業経営、持続可能な農業経営を目指し、支店を核とした推進体制を整え、役職員一丸となった集荷推進に取り組みを確認しました。





田んぼの学校

今年度も管内の小学校や幼稚園の子ども達を対象に、「田んぼの学校」を実施しました。子供たちに「育て」「収穫し」「食べる」という一貫した体験学習を通して農業への関心を高め、生命や食べ物大切さを学んでもらいました。



農業まつり

管内各地で農業まつりが盛大に行われました。各支店や事業部からも祭りに参加し、ポン菓子の無料配布や餅つきなど、様々な催しで祭りを盛り上げました。また、管内の農家によって収穫された野菜・米・味噌・肉などを販売し、地元住民や観光客にPRしました。



「みずかがみ」検査

暑さに強く良品質、食味も良い「みずかがみ」の検査が、6つの検査場で行われました。農家から持ち込まれた玄米を検査員が厳正に検査しました。検査結果は、猛暑であったことにもかかわらず白未熟粒の発生も少なく品質は上々で、85%が1等に合格しました。なお、「みずかがみ」は、今年2月に日本穀物検定協会が発表した13年産米の「食味ランキング」で県産米として初の最高ランクの「特A」に選ばれました。



小学校で食の学習会

小学生を対象に食の学習会を開催しました。農家組合員・県及びJA職員が、お米ができるまでの話や、琵琶湖を守る環境こだわり農業についてクイズを交えた内容で説明しました。その日の給食には環境こだわり農産物として生産された新品种「みずかがみ」の新米が提供され子ども達に好評でした。





J A利用者のつどい

J A利用者のつどいを2日間にわたり4公演開催しました。神野美加さんの歌謡ショーや、中谷健さんによるものまね歌謡ショーで会場は終始笑い声が絶えず盛り上がりを見せました。中盤には、J A職員から神野美加さんに花束と特産品を贈呈しました。



介護初任研修修了

今年度もデイサービスセンター「のどか」では介護職員初任者研修の修了式が行われました。8月4日から「のどか」を会場に、16週間にわたって受講し、11月17日にすべての研修日程を修了しました。今年度は8名が資格を取得し、修了式では受講生一人ひとりが修了証明書を受け取りました。

まつりで近江牛をPR

JAグリーン近江肉牛部会は東近江市の農林水産まつり等、各地域の祭に参加し地元の畜産物をPRしました。各部会による「近江牛コロッセ」「豚肉ブロック」の販売では、おいしい香りに誘われて買う方も多く、瞬く間に完売となる人気ぶりでした。



牛の放牧

近江肉牛を広く知ってもらおうと、JAグリーン近江の肉牛部会は、滋賀県近江八幡市大中町の県道、彦根近江八幡線沿いの牧草地に出産予定の2頭の近江牛を放牧しました。サイクリング客も立ち寄って見物される等、PR効果もありました。



第3ホール 「グリーンホール能登川」オープン

グリーンホール能登川のオープンに伴い、3月1日と2日に内覧会と相続支援セミナーを開催しました。内覧会には114人、相続支援セミナーには20の方が参加されました。セミナー終了後にはファイナンシャルプランナーによる無料相談も行い、プレゼントされたエンディングノートを手にした参加者の皆さんからは「もしもにそなえる良い機会になった」と喜んで頂けました。



グリーン近江農業協同組合

〒527-0029 滋賀県東近江市八日市町1-17
TEL 0748-25-5100 FAX 0748-25-5111
<http://www.jagreenohmi.jas.or.jp/>

